

令和6(2024)年度 武蔵丘短期大学 自己点検・評価(テーマ別評価)

基準	テーマ	区分	観点	評価(1~4) 1:計画している 2:開始・実施中である 3:実施している 4:継続的・効果的な質の改善につとめている	特記内容	
基準Ⅰ 建学の精神と 教育の効果	A 建学の精神	I-A-1 建学の精神を確立している。	(1)建学の精神は短期大学の教育理念・理想を明確に示している。	4		
			(2)建学の精神は教育基本法等に基づいた公共性を有している。	4		
			(3)建学の精神を学内外に表明している。	4		
			(4)建学の精神を学内において共有している。	4		
			(5)建学の精神を定期的に確認している。	4		
	B 教育の効果	I-B-1 教育目的・目標を確立している。	(1)学科又は専攻課程の教育目的・目標を建学の精神に基づき確立している。	4	R5見直し	
			(2)学科又は専攻課程の教育目的・目標を学内外に表明している。	4	ハンドブック及びHP	
			(3)学科又は専攻課程の教育目的・目標の達成状況を把握・評価している。	4		
			(4)学科又は専攻課程の教育目的・目標に基づく人材養成が地域・社会の要請に応えているか定期的に点検している。	4		
			(5)短期大学としての学習成果を建学の精神に基づき定めている。	4	R5見直し	
I-B-2 学習成果を定めている。		(1)短期大学又は専攻課程の学習成果を学科又は専攻課程の教育目的・目標に基づき定めている。	4	R5見直し		
		(2)学習成果を学内外に表明している。	4	ハンドブック及びHP		
		(3)学習成果を学校教育法の短期大学の規定に照らして、定期的に点検している。	4	R5見直し・点検		
		(4)短期大学及び学科又は専攻課程ごとに卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を明確に示している。	4	R5見直し		
		(5)卒業認定・学位授与の方針は、卒業の要件、資格取得の要件を明確に示している。	4	R5見直し・点検		
C 社会貢献 機関として 地域・社会に 貢献している。	I-C-1 高等教育機関として地域・社会に貢献している。	(1)社会への貢献についての取組みに関する方向性を示している。	3	事業計画に記載している		
		(2)地域・社会への貢献に取組んでいる。	4	多方面で活動している。吉見町とは協議した公開講座(TJUPとして)1件、生涯学習事業は?、リカレント教育2名		
		(3)地域・社会に向けた公開講座、生涯学習事業、正課授業の開放(リカレント教育を含む)等を実施している。	2			
		(4)地方自治体、企業(等)、教育機関及び文化団体等と協定を締結するなど連携している。	4	複数の団体と締結している		
		(5)教職員及び学生はボランティア活動等を行っている。	4	地域貢献活動としてボランティアで活動している。また教育活動の一環としても参加している		
		(6)地域・社会への貢献についての取組みを定期的に点検している。	4	地域貢献活動を毎月ポータルサイトに記載していただき、確認できるようにしている。R6は吉見町の事業に関して吉見町と意見交換を行った		
		D 内部質保証	I-D-1 自己点検・評価のための規程及び組織を整備している。	(1)自己点検・評価のための規程及び組織を整備している。	4	
				(2)定期的に自己点検・評価を行っている。	4	
				(3)定期的に自己点検・評価報告書等を公表している。	4	
				(4)自己点検・評価活動に全教職員が関与している。	4	
(5)自己点検・評価活動に高等学校等の関係者の意見聴取を取り入れている。	4			現在、市町村の教育委員会(外部評価委員として)に毎年アンケートにて実施・今後、高大連携の校長先生にもお願いしていきたい		
I-D-2 教育の質を保証している	(1)学習成果を焦点とする査定(アセスメント)の手法を有している。		3	卒業:卒業生実力テスト、プレテスト スポ・マネ:アンケート		
	(2)査定の手法を定期的に点検している。		2	今後の検討課題		
	(3)教育の向上・充実のためのPDCAサイクルを活用している。		3	質向上に向けての検討課題		
	(4)学校教育法、短期大学設置基準等の関係法令の変更などを確認し、法令を遵守している。		4	学校基本調査等の調査により点検・遵守		
	(5)単位授与の要件を定めている。		4	学習		
基準Ⅱ 教育課程と 学生支援	A 教育課程	II-A-1 卒業認定・学位授与の方針に従って、単位授与、卒業認定や学位授与を適切に行っている。	(1)単位授与の要件を定めている。	4		
			(2)単位授与、卒業認定や学位授与に関する要件を周知している。	4	学習	
			(3)単位の実質化を図り、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、年間又は学期において履修できる単位数の上限設定等を行っている。	4	CAP制(履修単位制限)に関する申告せ	
			(4)単位授与、卒業認定や学位授与が適切に運用されていることを点検している。	4	R5見直し・点検	
			(5)進級判定がある場合は周知している。	4		
		II-A-2 教育課程編成・実施の方針に従って、教育課程を編成している。	(1)教育課程は、短期大学設置基準にのっとり体系的に編成している。	4		
			(2)学習成果に対応した、授業科目を編成している。	4		
			(3)専門職学科においては、当該学科の専攻に係る職業の状況等を踏まえて授業科目の開発及び編成を行っている。	4		
			(4)シラバスに必要な項目(学習成果、授業内容、予習・復習の内容、授業時間数、成績評価の方法・基準、教科書・参考書等)を明示している。	4	授業評価アンケート	
			(5)学生による授業評価を定期的に受けて、授業改善に活用している。	4		
II-A-3 教育課程は、短期大学設置基準にのっとり、幅広く深い教養を培うよう編成している。	(1)教養教育の内容と実施体制が確立している。	3	R7見直し			
	(2)教養教育と専門教育との関連が明確である。	3				
	(3)教養教育の効果を測定・評価し、改善に取り組んでいる。	3	R7見直し			
	(4)学科又は専攻課程の専門教育と教養教育を主体とする職業への接続を図る職業教育の実施体制が明確である。	4				
	(5)職業教育の効果を測定・評価し、改善に取り組んでいる。	4				
B 学習成果	II-B-1 短期大学及び学科又は専攻課程において、学習成果は明確である。	(1)学習成果に具体性がある。	3	R5見直し、検討途中		
		(2)学習成果は一定期間内で獲得可能である。	4			
		(3)学習成果は測定可能である。	3	R5見直し、測定可能な、より具体的で分かりやすい表現へ		
		(4)各授業科目の学習成果は、学科又は専攻課程の学習成果に対応している。	3	各教員で見直し		
		(5)教員の成績評価基準等により学習成果の獲得状況を適切に評価している。	3			
	II-B-2 学習成果の獲得状況を量的・質的データを用いて測定する仕組みをもっている。	(1)GPA分布、単位修得率、学位取得率、資格試験や国家試験の合格率、学生の業績の集積(ポートフォリオ)、ルーブリック分布などを活用している。	3			
		(2)学生調査や学生による自己評価などを活用している。	3			
		(3)インターンシップや留学などへの参加率、大学編入学率、在籍率、卒業率、就職率などを活用している。	4			
		(4)卒業生への調査、卒業生の進路先を対象とする調査などを活用している。	3	進路支援委員会により卒業生アンケート、就職先アンケートを実施		
		(5)測定した結果を学習成果の点検に活用している。	3			
II-B-3 学習成果の獲得状況を公表に努めている。	(1)学習成果の獲得状況について、可視化した視覚がある。	3				
	(2)学生に獲得した学習成果を自覚できるように、根拠を基に説明している。	3	アンケートの結果をもとに個別面談を実施			
	(3)学習成果の獲得状況について、根拠を基に公表することに努めている。	2				
	(4)入学者選抜の方法は、入学者受入れの方針に対応している。	4				
	(5)高大接続の観点により、多様な選抜方法を設け、それぞれの選考基準を明確に示している。	4				
C 入学者選抜	II-C-1 入学者選抜は、公正かつ妥当な方法により、適切な体制を整えて実施している。	(1)入学者選抜は、入学者受入れの方針に対応している。	4			
		(2)高大接続の観点により、多様な選抜方法を設け、それぞれの選考基準を明確に示している。	4			
		(3)専門職学科における入学者選抜は、実務の経験を有する者その他の入学者の多様性の確保に配慮している。	4			
		(4)入学者選抜の実施に関する学内規程を整備し、規程に基づき実施している。	4			
		(5)入学者選抜の実施における学長を中心とした責任体制は明確である。	4			
	II-C-2 入学者選抜に関する情報を適切に提供している。	(1)学生募集要項に入学者受入れの方針を明確に示している。	4			
		(2)選抜区分ごとの募集人員を明確に示している。	4			
		(3)授業料、その他入学に必要な経費を明示している。	4			
		(4)受験の問い合わせなどに対して適切に対応している。	4			
		(5)入学手続きに対して入学までに授業や学生生活についての情報を提供している。	4			
D 学生支援	II-D-1 学習成果の獲得に向けて学習支援を組織的にしている。	(1)入学者に対して学習、学生生活のためのオリエンテーション等を行っている。	4	オリエンテーション		
		(2)学習の動機付けに焦点を合わせた学習の方法や科目の選択のためのガイダンス等を行っている。	4			
		(3)学生に個別指導、学習支援のための印刷物(ウェブサイトを含む)を発行している。	4			
		(4)学生に対して履修及び卒業に至る指導・支援を行っている。	4			
		(5)学習上の悩みなどの相談にのり、適切な指導助言を行う体制を整備している。	4	クラス担任、メンター制度、カウンセリング、何でも相談		
		(6)基礎学力が不足する学生や進度の遅い学生に対し補習授業等を行っている。	4	一部授業で対応しているが、多くは各教員の個別対応		
		(7)進度の遅い学生や優秀な学生に対する学習上の配慮や学習支援を行っている。	3			
		(8)適性による教育を行う学科又は専攻課程の場合には、添削等による指導の学習支援の体制を整備している。	-			
		(9)図書館等に専門的職員その他の専属の教員又は事務職員等を配置し、学生の学習向上のために支援を行っている。	4	司書を配置している		
		(10)学生の海外への派遣(長期・短期)を行っている。	-			
(11)学習成果の獲得状況を示す量的・質的データに基づき学習支援方法を点検している。	2	次年度に向けて検討が必要				

令和6(2024)年度 武蔵丘短期大学 自己点検・評価(テーマ別評価)

基準	テーマ	区分	観点	評価(1~4) 1:計画している 2:開始・実施中である 3:習熟している 4:特徴的・効果的な取組の改善につとめている	特記内容		
基準Ⅱ 教育課程と 学生支援	D 学生支援	Ⅱ-D-2 学習成果の獲得に向けて学生の生活支援を組織的に行っている。	(1) 学生の生活支援のための教職員の組織(学生指導、厚生指導等)を整備している。	4	学生委員会を中心に障がい者支援センターや医務室等と連携し、教職員の支援体制を整備している		
			(2) ラブ活動、学園行事、学友会など、学生が主体的に参画する活動が行われるよう支援体制を整えている。	3	コロナ禍後、学園祭やスポーツフェスティバル等の学友会活動を学生委員会が支援バックアップしている		
			(3) 学生食堂、売店の設置等、学生のキャンパス・アメニティに配慮している。	3	学生食堂は学生からの要望等に配慮したメニューや価格に努力し、学生の快適な学生生活に配慮している		
			(4) 宿舎が必要な学生に支援(学生寮、宿舎のあっせん等)を行っている。	3	学生寮は設置していないが、近隣の不動産屋と連携し、宿舎の紹介を行っている		
			(5) 通学のための便宜(通学バスの運行、駐輪場・駐車場の設置等)を図っている。	3	駐輪場や駐車場を設置・整備している。通学バスは公共機関を利用		
			(6) 奨学金等、学生への経済的支援のための制度を設けている。	4	健康生活奨励生やスポーツ特待生制度等、多くの減免制度を整備している		
			(7) 学生の健康管理、メンタルヘルスケアやカウンセリングの体制を整えている。	3	医務室看護師、校医、カウンセリング等を配置し、体制整備している		
			(8) 学生生活に関して学生の意見や要望の聴取に努めている。	3	メッセージボックスやハラスメント等の投書箱やメールでの方法で要望の聴取に努めている		
			(9) 留学生在籍する場合、留学生の学習(日本語教育等)及び生活を支援する体制を整えている。	-	現在、留学生は在籍していない		
			(10) 社会人学生が在籍する場合、社会人学生の学習を支援する体制を整えている。	3	担任を中心に専攻で共有して、様々な委員会や事務局と連携して支援している		
基準Ⅲ 教育資源と 人的資源	A 人的資源	Ⅲ-A-1 教育課程編成・実施の方針に基づき教員を配置している。	(1) 短期大学及び学科又は専攻課程に必要な教員を配置している。	4	R6事業計画「教学改革計画」②0で学生の学習の場を確保しようとした。その他、単位としては「地域貢献演習」で対応しているが制度自体があまり教員に浸透していない		
			(2) 短期大学及び学科又は専攻課程の専任教員又は非常勤教員は短期大学設置基準に定める教員数を充足している。	4			
			(3) 教育課程編成・実施の方針に基づき専任教員と非常勤教員(兼任・兼担)又は基幹教員とその他教員を配置している。	4			
			(4) 専任教員又は基幹教員の職位は真正な学位、教育実績、研究業績、制作物発表、その他の経歴等、短期大学設置基準の規定を充足している。	4			
			(5) 非常勤教員又は基幹教員以外の教員の採用は、学位、研究業績、その他の経歴等、短期大学設置基準の規定を準用している。	4			
			(6) 教育課程編成・実施の方針に基づき指導補助者を配置している場合は、適切に実施している。	4			
			(7) 専任教員又は基幹教員の研究活動(論文発表、学会活動、国際会議出席等)は教育課程編成・実施の方針に基づき成果をあげている。	4			
			(8) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	2	長島先生、八坂先生のみで増えてはいない		
			(9) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	4	整備済み		
			(10) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	2	そろそろ研究倫理教育をやる必要あり		
Ⅲ-A-2 教員は、教育課程編成・実施の方針に基づき教育研究活動を行っている。	(1) 専任教員又は基幹教員の研究活動(論文発表、学会活動、国際会議出席等)は教育課程編成・実施の方針に基づき成果をあげている。	4	本年度は必要の投稿規程を改定し、研究成果発表の場を広げた				
	(2) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	2	研究日は確保しているが、十分なものか?				
	(3) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	4	留学一教員の進捗休職の取扱いについて海外派遣など一教職員の国外出張の取扱いについて				
	(4) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	3	専門的な職能は?であるが、経験豊富な管理職を配置している				
	(5) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	3	最低限数の職員数のため定期的な配置転換は難しいが、能力や適性にに応じて業務等を課を越えて対応できる環境となっている				
	(6) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	4	後継学園事務分掌規程				
	(7) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	4	特に不足はない				
	(8) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	2	各課で状況に応じた改善はしているが、点検評価は特にしていない				
	(9) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	4	本学規程はないが、学校教育法施行規則第28条第7項第2号で学籍簿は20年間保存とあるため、開学以来の成績原簿を保存している				
	(10) 専任教員又は基幹教員の研究活動に関する規程等を整備し、適切に実施している。	4	武蔵丘短期大学における公的研究費等の不正防止計画SDは実施した。ただし、FD・SD委員会案はFDとSDが明確に分かれていないため改正する必要がある。SD実施の前提となる人材育成の目標・方針も定期的に見直す必要がある				
Ⅲ-A-3 学習成果の獲得が向上するよう事務職員等を配置している。	(1) 事務職員等は、事務等をつかさどる専門的な職能を有している。	3	FD活動に関する規程は、委員会の設定にとまどっており、具体的なFD活動は現状にあわせて進めていく。社会情勢にあわせて、教職員の資質を高めるための少人数制に対応できる研修が必要である				
	(2) 事務職員等の能力や適性を十分に発揮できる環境を整えている。	3	大学設置基準改定にともなう指導補助者については、持来のような形で本学の就業に従事するかの検討を始める段階である				
	(3) 事務等関係規程を整備している。	4	後継学園就業規則など法人事務局で法令に沿ったものを整備している				
	(4) 事務部署等に事務室、情報機器、備品等を整備している。	4	改正があれば全員参加の教授会で周知するとともに、ポータルでもいつでも閲覧できる状態である				
	(5) 日常的に業務の見直しや事務処理等の点検・評価を行い、改善している。	2	勤怠等はシステムで管理しており、適切に管理している				
	(6) 学生の成績記録を規程に基づき適切に保管している。	4	教員は教員人事選考委員会規程、職員は就業規則、人事評価規程で対応している				
	Ⅲ-A-4 学習成果の獲得に向けて、教職員の役割や責任を規定している。	(1) 教職員の役割や責任を規定している。	4	規定を充足している			
		Ⅲ-A-5 教員等の資質、教育能力、専門的能力等が向上するよう組織的な研修を実施している。	(1) 教職員のSD活動に関する規程を整備し、適切に実施している。	4	規定を充足している		
			(2) 教員はFD活動を通して授業・教育方法の改善を行っている。	2	規定を充足している		
			(3) 指導補助者の研修に関する規程を整備し、適切に実施している。	1	規定を充足している		
Ⅲ-A-6 労働関係法令を遵守し、人事・労務管理を適切に行っている。			(1) 教職員の就業に関する諸規程を整備している。	4	規定を充足している		
			(2) 教職員の就業に関する諸規程を教職員に周知している。	4	規定を充足している		
			(3) 教職員の就業を諸規程に基づき適正に管理している。	4	規定を充足している		
			(4) 教職員の採用、昇任は就業規則、選考規程等に基づき適切に行っている。	4	規定を充足している		
			B 物的資源	Ⅲ-B-1 教育課程編成・実施の方針に基づき校地、校舎、施設設備、その他の物的資源を整備、活用している。	(1) 校地は、学生間の交流等が十分に行えるなどの教育にふさわしい環境を持ち、その面積は短期大学設置基準の規定を充足している。	4	規定を充足している
					(2) 学生に対する教育又は厚生指導を行う上で必要に応じ、運動場、体育館その他のスポーツ施設、講堂及び寄宿舎等の厚生施設を設けている。	4	グラウンド、体育館、プール、トレーニングルームなどを完備している
	(3) 校舎は、教育研究に支障のないよう、教室、研究室等必要な施設を備え、その面積は短期大学設置基準の規定を充足している。				4	規定を充足している	
	(4) 校舎の敷地には、学生が交流、休息等に利用するのに適当な空地を有している。	4			中庭やホール、食堂がある		
	(5) 校地と校舎は障がい者に対応している。	2			車椅子は1階部分は入室可能であるが2Fは自力では不可。多目的トイレもない		
	(6) 教育課程編成・実施の方針に基づき教室は、講義、演習、実験・実習又は実技を行うのに必要な種類と数を備えている。	4			十分な教室を備えている		
(7) 専任教員又は基幹教員に対して研究室を整備している。	4	研究室は備わっている。教育上、助手と同居となっている教員がいる					
(8) 専門職学科においては、臨地実務実習その他の実習に必要な施設を確保している。	-						
(9) 通信による教育を行う学科又は専攻課程を開設している場合には、添削等による指導、印刷教材等の保管・発送のための施設が整備されている。	-						
(10) 教育課程編成・実施の方針に基づき授業を行うための機器・備品を整備している。	4	機器・備品は古くなっており、計画的な入れ替えが必要である					
Ⅲ-B-2 施設設備の維持管理を適切に行っている。	(1) 図書等を中心に教育研究に必要な資料を系統的に整備し、学生等に提供している。	4	司書が管理しており、PCで検索もできる				
	(2) 図書等を中心に教育研究に必要な資料の提供に当たって必要な情報の処理及び提供システムの整備その他教育研究に必要な資料の利用を促進するために必要な環境の整備に努めている。	4	①図書は教員へ依頼している ②他の大学と連携して資料(文献の複製)を提供している				
	①購入図書等選定システムや検索システムが確立している。	4					
	②資料の提供に際し、他の短期大学の図書館等との協力に努めている。	4					
	(3) 多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で授業を行う場合、適切な場所を整備している。	2	全教室は有線LANがある。外での実習等は無線LANは配置できていない				
	(1) 固定資産管理規程、消耗品及び貯蔵品管理規程等、財務諸規程に含め整備している。	4	整備している				
	(2) 諸規程に従い施設設備、物品(消耗品、貯蔵品等)を維持管理している。	4	管理している				
	(3) 火災・地震対策、防犯対策のための諸規程を整備している。	4	防火防災委員会(自衛消防隊組織)とハンドブックの防災ガイドライン				
	(4) 火災・地震対策、防犯対策のための定期的な点検・訓練を行っている。	4	R6は消防を呼んで避難訓練を実施した。その他、設備は消防設備点検を行っている				
	(5) コンピュータシステムのセキュリティ対策を行っている。	3	法人事務局で対応している。ただし、教員個人PCは管理していない				
(6) 省エネルギー・省資源対策、その他地球環境保全の配慮がなされている。	2	R6は1999年導入のエアコンを入れ替えた。また故障した業務用冷蔵庫をノンフロン冷蔵庫に交換した					
C 技術的資源をはじめとする その他の教育資源	Ⅲ-C-1 教育課程編成・実施の方針に基づき学習成果を向上させるために技術的資源を整備し、有効に活用している。	(1) 教育課程編成・実施の方針に基づき技術サービス、専門的な支援、施設設備の向上・充実を図っている。	2	事業計画に従って検討しているが、予算に限りがあるためあまり進んでいない			
		(2) 情報技術の向上に関するトレーニングを学生及び教職員に提供している。	3	A1の発展に伴う情報技術への取り組みはこれらの課題である			
		(3) 技術的資源と設備の両面において計画的に維持、整備し、適切な状態を保持している。	2	維持、整備はしているが、すべてには対応できていない(情報処理室のPCが何台か使えない。Wifiも研究室によっては届いていない)			
		(4) 技術的資源の分配を常に見直し、活用している。	2	見直しはできていない			
		(5) 教職員が教育課程編成・実施の方針に基づき授業や短期大学運営に活用できるよう、情報機器の整備を行っている。	2	コロナ禍を機に整備したが、学生用Wifiが遅い等の苦情がある			
		(6) 学生の学習支援のために必要な学内LANを整備し、適切に活用し、管理している。	2	ある程度は整備しているが、体育館や屋外は未設置である。また、一度に使用すると速度が遅い			
		(7) 教職員は、新しい情報技術等を授業や短期大学運営に活用している。	2	FD研修は実施しているが、全学的な広がりや充実が望まれる			
		(8) コンピュータ教室、マルチメディア教室、CALL教室等の特別教室を整備している。	2	情報処理室にのみ設置している			
		基準Ⅳ 短期大学運営 とガバナンス	D 情報公表	Ⅳ-D-1 短期大学は、高い公共性と社会的責任を有しており、積極的に情報公表・公開して説明責任を果たしている。	(1) 法令等に基づき、教育情報及び財務情報等を公表・公開している。	4	HPに公開している
					(2) 自主的な行動規範であるガバナンス・コードを定め、公表している。	4	HPに公開している。また、8~9月の自己点検評価委員会が適当状況を点検評価している